令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
教　養	教養Ⅱ	1	２－１～２－Ａ

１．学習の到達目標

・日本の伝統文化を理解し、和の作法を学習する事により、物を大切にする気持ち
　思いやりの心を持ち接することの大切さを学ぶ
・他人を思いやる心を育て、人権意識を高めるように務める

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	１学年の総まとめ 手話学習 ・数字 ・家族 ・自己紹介 「手話実技テスト」 「期末考査」 食文化とマナー 　・世界の料理・日本料理（中国料理）のマナー	・手話を使って自己紹介ができる ・他国の食事のマナーを理解し、食事のマナーを身につける ・食事を通して伝承されてきたマナー、日本人として自国の食文化、箸の使い方などを知る
２学期	手紙のマナー（礼状の書き方） 　・訪問とおもてなしのマナー 　・お見舞いのマナー 　・贈答のマナー 和室でのマナー（襖・障子の扱い方など） 「実技テスト」　座礼三種　履物の扱い 茶菓のマナー　〔お抹茶〕 　・実技　薄茶を点てる　もてなす　頂く心得について 「期末考査」	・手紙のマナー、敬語について理解しているか確認する ・贈り物のマナー、お見舞いのマナーについて理解しているか確認する ・人を尊敬し、思いやりの心をもち、感謝の気持ちを言葉や態度に表わせるように、基本的なマナー・エチケットを身につける ・和室での立ち居振る舞いがスムーズにできる ・履物の扱いがスムーズにできる ・抹茶の点て方など作法を学ぶ
３学期	・パーティーマナー フォーマルマナー 　・慶（婚儀）のマナー 弔事マナー 「実技テスト」　弔事（神式）のマナー 面接の受け方 「学年末考査」 和食マナー	・食文化とマナーについて理解しているか確認する ・知っておきたい慶事・弔事のマナーを理解する ・面接の流れを理解する ・面接の受け方について理解しているか確認する ・食文化のマナー、和食の基本的マナーを学ぶ

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査による評価、提出物等授業態度による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、基本的な技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	教養に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、家庭生活の意義や役割を理解している。	教養に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付け主体的に取り組もうとしている。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	楽しく学べるマナーの基本（教育図書㈱）
副　教　材	私たちのエチケット（教育図書㈱）